

模擬問題

2024後期・社福国試対策

刑事司法と福祉(58~63+②)、ソーシャルワークの基盤と専門職(64~69+③)

58 矯正施設出所者等に対する就労支援に関する記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

1. 刑務所出所者等総合的就労支援対策として、矯正施設が保護観察所と連携して就労支援を実施している。
2. 禁錮受刑者も刑務作業を行わなければならない。
3. 職親プロジェクトは、刑務所在所中や少年院在院中からの就労支援及び採用決定等を実施することによって対象者の円滑な社会復帰等を目的としている。
4. 就業支援センターでは、刑務所出所者等の就労に協力する「協力雇用主」と連携して就労を支援している。
5. 刑務所出所者等総合的就労支援対策は、非正規雇用も想定されている。

59 社会内処遇に関する記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

1. 更生保護法に定める矯正施設収容者等に対する「生活環境の調整」は、主に刑務官が実施している。
2. 保護観察の対象者は、保護観察処分少年、少年院仮退院者、仮釈放者、保護観察付執行猶予者、婦人補導院仮退院者である。
3. 認知行動療法に基づく専門的処遇プログラムとしては、「性犯罪」「ギャンブル」「暴力」「飲酒運転」の4類型がある。
4. 保護観察対象者は、一般遵守事項の一つとして、「保護観察中の転居又は7日以上の旅をする時は、あらかじめ県知事の許可を受けなければならない」とされている。
5. 保護司は、国家公務員であり、保護観察官は民間ボランティアである。

60 更生保護に携わる関係機関に関する記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

1. 自立更生促進センターは、各都道府県に設置されている。
2. 更生保護施設とは、主に保護観察所からの委託を受けて、保護観察又は更生緊急保護の対象者を宿泊させ、一定期間、宿泊場所や食事を提供し、就職援助や生活指導を行うことにより、円滑な社会復帰と自立を支援する民間施設である。
3. 自立準備ホームとは、民間の更生保護施設の収容力に限界があることなどを背景に法務省が設立した国営施設である。
4. 地域生活定着支援センターの実施主体は市区町村である。
5. 協力雇用主には、国からの報奨金等の支給はなされていない。

61 更生保護制度に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

1. 保護観察官は保護観察所に配置される常勤の地方公務員である。
2. 保護司は非常勤の国家公務員である。
3. 保護観察官・保護司の行う更生保護は社会外処遇として実施される。
4. 仮釈放等の許否を判断する機関は、保護観察所である。
5. 刑事施設等の長から仮釈放を許すべき旨の申出がない場合には、仮釈放の許否に関する審理は開始されない。

62 保護観察に関する記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

1. 労役場からの仮出場に際して、保護観察に付される。
2. 保護観察中に、補導援護に違反すると、不良措置をとられる場合がある。
3. 更生保護の保護観察中に、必要に応じて応急の救護と更生緊急保護が行われる場合がある。
4. 特定の犯罪的傾向を改善するための、性犯罪者処遇プログラム、薬物再乱用防止プログラム、暴力防止プログラム、飲酒運転防止プログラムは法務大臣が定める。
5. 更生緊急保護は、最大2年を超えない範囲内で行われる。

63 医療観察制度に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

1. 医療観察制度における審判は、精神保健福祉分野に詳しい裁判官1名のみが担当する。
2. 医療観察制度における保護観察所の関りを担うのは保護観察官である。
3. 指定入院医療機関への入院は、入院処遇ガイドラインにより、おおむね18か月以内の退院を目指すこととされている。
4. 指定通院医療機関への通院は、原則3年間とされ、通院期間の延長は原則的に行われない。
5. 通院期間中は、本人の病状に応じて、常に、医療観察制度における対応が行われる。

①

事例を読んで、保護観察中にD保護観察官と、F保護司が、Lさんに対して行う業務のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

〔事例〕

Lさん（40歳）は懲役6年の刑の確定後、刑事施設に収容されて2年経過したが、刑事施設では自分の罪を悔いて、改悔の情も見られている。保護観察所のD保護観察官と、F保護司はLさんの今後に対応する予定である。

1. 刑事施設の長は、刑法に規定する法定期間が経過するため、通告しなければならない。
2. 刑事施設の長の通告先は、保護観察所である。
3. D保護観察官と、F保護司はLさんの更生保護に向けて、当初から、一般遵守事項と特別遵守事項の双方による保護観察を行う。
4. Lさんは、保護観察となると4号保護観察となる。
5. 必要な住居等の生活環境調整は、Lさんの仮釈放後に実施する。

②

事例を読んで、次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

〔事例〕

両親との関係が悪いA少年（17歳、男性）はその憂さをはらすためB少年と飲酒を繰り返し、そのお酒を得るためにB少年と共謀して万引きを繰り返していた。その結果、警察に捕まり家庭裁判所の審判で少年院に入所することになった。そして、今回仮退院が許されて両親の下ではなく更生保護施設に入所することになった。

1. A少年が許された仮退院は家庭裁判所が決定する。
2. A少年の保護観察のことを3号観察と言う。
3. 更生保護施設の多くは社会福祉法人により設置運営されている。
4. 特別遵守事項として「共犯者との交際を絶ち、一切接触しないこと」が付く。
5. 特別遵守事項を変更することはできない。

64 社会福祉士及び介護福祉士法に規定されている社会福祉士に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

1. 社会福祉士になるにあたって、特に「欠格事由」は規定されていない。
2. 社会福祉士には業務独占の領域はいかなる場合もみられない。
3. 社会福祉士は所属組織の信用を失墜する行為をしてはならない。
4. 社会福祉士は業務に関して知り得た個人情報、福祉サービス関係者には必ず開示しなければならない。
5. 社会福祉士の名称の使用は、登録を受けた後でなければならない。

65 2014年の「ソーシャルワークのグローバル定義」に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。
(注) 「ソーシャルワークのグローバル定義」とは、2014年7月の国際ソーシャルワーカー連盟 (IFSW) と国際ソーシャルワーク学校連盟 (IASSW) の総会・合同会議で採択されたものを指す。

1. ソーシャルワークは、人々ではなく、さまざまな構造に働きかけるものであるとした。
2. ソーシャルワークの中核をなす、社会正義、人権、集団的責任、および多様性尊重の諸原理は対立しない。
3. ソーシャルワークの知は、特定の実践環境や西洋の諸理論を重視する。
4. ソーシャルワークは、専門職による実践に基づいたものであり、学問ではないとした。
5. 「ソーシャルワークのグローバル定義」において初めて、各国および世界の各地域で展開してもよい、と示された。

66 相談援助の理念に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

1. 利用者本位とは、利用者の立場に立ち、利用者の意思を最大限尊重することをいう。
2. ノーマライゼーションの理念が具現化してきたのは1850年代のイギリスにおいてと言われている。
3. 自立支援とは、単に身体的自立を支援するものである。
4. ケースアドボカシーとは、ある特定の社会階層や属性に属する人すべてに良い影響が与えられるような活動のことである。
5. ストレngthス・パースペクティブは、クライアントの抱える弱さに着目し、それを強化する。

67 ソーシャルワークの形成過程に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

1. バーネット (Barnett, S.) はトインビーホールを創設し、セツルメントの活動を最初に組織的に行った。
2. マイルズ (Miles, A.) は、人間の心理的な側面に傾倒しているケースワークに対し、社会環境への視点を取り戻すべきとして、「ケースワークは死んだ」という論文を発表した。
3. キリスト教青年会 (YMCA) は祈祷会や聖書研究会の活動を行うことを目的に設立され、のちのケースワークの源流の一つとなった。
4. パールマン (Perlman, H.) は、社会問題へ対応できないソーシャルワークの批判と、その有用性が疑問視されるなかで、「リッチモンドに帰れ」と主張した。
5. 慈善組織協会の友愛訪問と呼ばれる個別の訪問活動は、グループワークの発展につながった。

68 相談援助専門職に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

1. 福祉事務所に配置される現業員とは、現業事務の指導監督をつかさどる者のことである。
2. 児童相談所に配置される児童福祉司とは、心理検査やカウンセリングなど、主に心理的な側面からの支援を行う者のことである。
3. 市区町村社会福祉協議会には、地域住民に身近な社協として、地域住民からの福祉に関する相談や地域の福祉ニーズへの対応などの活動の推進を目的として福祉活動専門員が配置される。
4. 婦人相談所に配置される婦人相談員とは母子及び父子並びに寡婦福祉法を根拠としている。
5. 介護老人福祉施設に配置される生活相談員は、社会福祉士でなければならない。

69 事例を読んで、ジェネラリスト・ソーシャルワークの視点に基づく支援として、この時点でのB地域包括支援センターのD相談員（社会福祉士）の対応として、適切なものを2つ選びなさい。

〔事例〕

担当地区の民生員Aさんより、B地域包括支援センターに、Cさん（80歳、男性）についての相談の電話があり、D相談員（社会福祉士）がCさんの自宅を訪問した。Cさんは、昨日の朝8時、散歩に行くと言って出たが16時間後、近くの商店街を一人で歩いているところを民生員Aさんが発見した。Cさんは「どこを歩いてきたか覚えていない。」と話している。Cさんは、寝たきりの妻と二人暮らしで子どもはいない。このままでは、再び徘徊し、事件・事故に遭遇する可能性があるが、本人は自宅での生活を望んでいる。

1. 困難な事例であるので、Cさんへの支援についてはB地域包括支援センターが一手に引き受ける。
2. 訪問を重ね、Cさんと妻に介護老人福祉施設への入所を勧める。
3. 医学的な判断が必要な状況であると考え、Cさんのかかりつけ医に協力依頼をする。
4. B地域包括支援センターが担当している地域に、Cさんと同じようなニーズが発生していないかを調査し、確認する。
5. 近隣住民や商店街に協力を要請し、発見と見守りの機能を強化する。

① 事例を読んで特別養護老人ホームに勤務するB生活相談員（社会福祉士）の抱えた倫理的ジレンマに該当するものとして、社会福祉士の倫理綱領（日本社会福祉士会）と照らし合わせたときに、その組合せとして、最も適切なものを1つ選びなさい。

〔事例〕

R市に住むAさん（84歳、女性）は要介護3で認知症があり、デイサービスを週に3回利用していた。今までは遠方に住む家族がなんとか生活を支えていたがそれも限界が近づいており、早期の施設入所の検討をしている。そこで施設生活に慣れるためショートステイ利用をすることとなったが、予め本人に伝えると嫌がり、施設利用ができないかもしれないとの家族の希望で、本人には内緒で施設への利用送迎をB生活相談員がすることとなった。

1. プライバシーの尊重と利用者との関係
2. 情報の共有と社会的信用の保持
3. 利用者の自己決定の尊重と利用者の利益の最優先
4. 秘密の保持と受容
5. 利用者の意思決定能力への対応と記録の開示

② 日本の社会福祉の発展に寄与した人物に関する次の記述のうち記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

1. 小河滋次郎は、ドイツのエルバーフェルト制度を参考に、済世顧問制度を創設した。
2. 片山潜は、神戸でセツルメント運動を行った。
3. 糸賀一雄は滋賀県に「近江学園」を設立し、戦災で家族を失った浮浪児や知的障害のある児童を支援した。
4. 横山源之助は、「ケース・ワークの技術」を著した。
5. 谷川貞夫は、聖路加国際病院に開設された医療社会事業部に医療ソーシャルワーカーとして採用された。

③ セツルメント運動に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

1. セツルメントの3つのRとは、「住み込み (residence)」「調査 (research)」「届ける (reach)」である。
2. セツルメント運動を最初に組織的に行ったのは、アメリカのジェーン・アダムズ (Addams,J.) である。
3. セツルメント運動とは、知識や技術をもつものがスラム街に通い、支援をすることである。
4. トインビー・ホールでは、第一に行う事業を社会調査とそれに基づく社会改良の世論喚起とした。
5. ジェーン・アダムズ (Addams,J.) は、ロンドンで見学したトインビー・ホールに影響を受け、1889年にハル・ハウスを設立した。